



しあわせ

No.112

平成24年1月26日

発行者 社会福祉法人
飯豊町社会福祉協議会
会長 舟山 兵八郎
電話 72-3353(事務局)
E-mail:iideshakyo@poem.ocn.ne.jp

「個」と「孤」を照らし、地域にあたたかい陽だまりを 一人ひとりの“生”に光をあてて

一目 次-

- 02 平成23年度集落ワークショップ
- 06 共同募金・歳末たすけあい運動結果
- 08 つながる支援の輪～私たちができること～
- 09 これまでの出来事を振り返る
- 10 想い出のひろばー福祉の里めざみ
- 11 広報支援協賛企業広告
- 12 感謝録・表彰をお受けになられた皆様等

新年明けましておめでとうございます。
会員並びに町民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から当協議会の運営並びに事業推進に対し多大なるご支援・ご協力を賜つておりますことに、役職員一同を代表し厚くお礼を申し上げます。



飯豊町社会福祉協議会
会長 舟山 兵八郎

年頭のあいさつ

昨年は、日本中が地震・津波・原発事故そして大雨による洪水などの未曾有の災害に直面いたしました。しかし、地域内の安否の確認、避難所への支援や物資の提供、そしてバスをチャーターしての被災地復興支援現地ボランティアなど、この災害で人間としての多くの尊い絆を感じることができたのではないかと思います。

引き続き厳しい社会情勢と予想される本年ですが、灾害により再確認された絆と町民の皆様がこれまで培つてきた支え合いの暮らいや、ものづくりが地域づくりの底力となり、安心して住み続けられる地域の実現につながるものと信じるものです。

町民皆様との対話や地域福祉推進委員の皆様との協議でご指導頂いた点を大切にし、民生委員児童委員、ボランティア等の皆様にもご理解とご協力を頂き、「福祉のまちづくり」に取り組んでまいります。本年も町民の皆様のご協力を賜りますよう心よりお願い申上げます。



「しあわせ」の作成経費の一部としてお寄せいただいた共同募金配分金及び広報誌発行のために企業から協賛いただいた掲載料を使用させていただいております

STEP 1**第1回ワークショップ（11月24日～25日）****『高齢者を取り巻く問題や解決すべき課題を話し合う』**

- 身の回りの不安なこと、心配なことなどを出し合う。
- 家を継いでくれる後継者のことなどの話し合い。
- どんな「支えあい」が必要なのかを考える。
- 高齢者の将来像を考える。
(どんな高齢者になりたいか)

- 食事は
- 買い物は
- 生き甲斐は
- 除雪は
- 手仕事を持つ
- 食事会を持つ
- 生産活動に従事
- 元気づくり 等

STEP 2**第2回ワークショップ（12月13日～14日）****『問題を解決する方法を話し合い具体的な活動を考える』**

- 出された問題などの解決方法を考える。
- 問題解決のための活動計画を作る。
- 集落での「支え合う」体制を考える。

- 暮らしの将来像を作成
- モデル 4 地区の報告会の検討
- 他集落への波及

アクション**支えあって住み続けられる地域の実現に向けた行動****中部地区 吉長地区**

(地区長 / 長沼 義晴)



集落の高齢者が期待する念願のサロン実現に向けて一步前進。集まることの楽しさを実感。「協同の家」と命名された由緒ある公民館はみんなの拠り所。

■高齢者の生きがいをつくるサロンを作る。

- ・社会福祉協議会が普及を呼び掛けている「いきいきサロン」について集落として検討する。
⇒除雪の関係で冬期間公民館に集まるのが大変であれば誰かの家でサロンをやってみよう。

■集落を出て行った人がリターンしたくなる集落づくり。

- ・息子たちに「いつでも戻って来い」といえる生き方、暮らし方を身につける。
⇒まずは、この集落から出ている人の数や外孫調査をやってみよう。

■認知症にはなりたくない！

- ・前の記憶を呼び起こし、頭をつかう習慣が大切。
⇒昔の写真を持ちより若き日の自分と集落を支えてきた人たちを思い出してみよう。

■ついのすみかを元気に！

- ・住民同士はもちろん、他地域の方とも積極的に交流し集落の活性化を目指そう。
⇒親同士の交流が子供たちの婚姻にもつながることに期待。

■高齢のため来客に気の利いた料理が振る舞えない。（おばあちゃんのつぶやき）

- ⇒隣近所の名人からお裾分けしてもらい解決。

集落の持つ力を再発見！ご近所で解決できることを考える！**本年度も“集落ワークショップ”を開催しました！**

11月と12月、町内の4集落を対象として支え合いの暮らしの実現に向けた“集落ワークショップ”が開催されました。今回で3年目となったこの事業には延100名が参加し地元住民による支え合いの仕組みづくりについて話し合いが行われました。本誌ではその取り組みの様子をダイジェストにして紹介します。



このワークショップは『集落で高齢者を中心に様々な人たちとのつながりを築き、お互いに支えあう仕組みを一緒に考える』もので1集落につき2回開催してきました。一人ひとりの問題や悩みを集落全体の生活課題としてとらえ住民による支え合い活動の中で解決できるものについては活動内容を具現化し実践することを目標としてきました。特に、高齢者などが「個」を単位に尊厳され安心して生きられる集落を目指し役割意識を高める行動について考えてきました。また、集落として支えあう項目を点検し、その機能を高める方法などについても触れられました。

各モデル集落の部落長、地区長及び自治会長様をはじめ、いきいきサロンの皆様、民生委員の方々のご協力により、社会福祉協議会として、これから地域福祉を実践していく上で大きなヒントとなることやご当地ならではの暮らしの知恵を再認識できたことは大きな収穫となりました。

【テーマ】**『集落で高齢者を中心としたつながりを築き、お互いに支えあう仕組みを一緒に考えましょう！』**

【実施地域】 中部地区：吉長地区（黒沢） 白椿地区：椿第一自治会（椿）
東部地区：大旦部落（添川） 西部地区：向原部落（手ノ子）

西部地区 向原部落

(部落長 / 横山 勝雄)



男女が協力し元気なサロン活動が行われています。モノづくり名人が多く作る喜びや楽しさをみんなで分かち合うことができれば更に活動の輪が広がりそうです。

■せっかくだから、楽しめる農業を！

- ・野菜作りに新機軸。 ⇒手間のかからない在来品種といわれる農作物を栽培してみよう。

■高齢者の役割を見直し効率よく役割分担。

- ・集落において高齢者が得意なものについては、高齢者が担う仕組みが必要。
⇒負担がかからない方法をもう一度みんなで考えよう。

■サロン活動を更に充実。

- ・高齢社会だからこそ生き生きと暮らしていく。 (高齢者ならではの楽しみ方を考えよう)
⇒サロンで特技の交換をしよう！編物の名人から全員にマフラープレゼントなど。
⇒かやぶき名人を筆頭に「かやぶき茶室」を作ってみては。

■高齢者世帯を作らない取り組みとして。

- ・地域の魅力を若い世代に伝えることが大切。 ⇒孫達に誇れる地域を作ろう。

■生活の不安 (VS雪)。

- ・真冬は数時間立てば国道から家に入れないため危険。 ⇒集落でできる雪対策を考える。

集落ワークショップで取り入れたコミュニティ活動の知恵袋**①白菜なべ****～お年寄りが作る白菜の味を子供たちに伝えるための妙案～**

お年寄りから子供たちまで一緒に調理することで、おじいちゃん、おばあちゃんの作った白菜の味が際立つと思います。子供達が、「白菜」を美味しいと頬張って食べてくれば、家庭で作る野菜のありがたさ、おじいちゃん、おばあちゃんの温かさがうまく伝わると思います。

**＜白菜鍋の作り方＞****●準備するもの（5人用）/**

土鍋、カセットコンロ、白菜 1、豚バラ 200g、酒、醤油、調味料

- ①鍋の底に白菜の外側の部分を敷き、焦げ付かないよう日本酒(100cc程)を入れる。
- ②白菜は 5 cm 幅に切り、豚肉と交互に重ねていきます。
- ③必ず弱火で煮る。しばらく経つと白菜から水分が出てくるので湯気が立ってきたのを見て強火にする。(下に敷いた白菜が焦げないよう必要に応じお酒を足す)
- ④湯気が立ち、煮立ったら醤油を入れ、味を整えたら完成です。

②おかゆパーティー**～持ち寄ることの楽しさを実感するための妙案～**

持ち寄る「具材」は、前の日の夕食で残ったものや、米菓子や餡子などでも面白いと思います。みんなで炊きたてのお粥に、持ち寄った具材を細かく刻み、トッピングするだけなので、どこでも誰とも簡単に楽しめると思います。

**＜お粥パーティーの方法＞****●準備するもの/炊飯器、米、具材（漬物、魚料理、肉料理など）**

- ・水の分量が普通よりも多く水の加減が美味しさのポイントになります。
- ・具材は細かく刻み、一品ずつ小皿に分けるのが良いでしょう。
(持寄り品が誰かと重なっても家庭によって味は違うので大丈夫)
- ・煎餅を細かく潰し「ふりかけ」感覚でお粥にトッピングするのも面白い。

白椿地区 椿第一自治会

(自治会長 / 長谷川正芳)



鍋を囲んでみんなで会食！集落全体にサロンの旨味が届くほど賑やかな集まり。「料理上手」「書道名人」「野菜作りの達人」が揃い将来が楽しみ。若い世代に老後の楽しみ方の模範を示すことが私たちの役割に！

■若者も共感できる素敵なシニアライフを。

- ・食べられる花を栽培したり珍しい物を作ってみよう。(南天、食用菊など)
⇒例えば「桜の花のしおづけ」し花見時期にはみんなで「桜茶」を楽しもう。
⇒クリスマスには、「とうがらし」、「大葉」を入れた焼酎のお湯割りがお洒落。

■サロンの活動プログラムのマンネリ化解消。

- ・集落で特技をもっている人から教わってみるのも良い。男性の参加者も大歓迎です！
⇒正月には書道の得意な方から指導頂き、みんなで「書き初め」を企画しよう。

■近所同士のつながりを大切に。

- ・サロンがない日は閉じこもりを防ぐために隣近所でお茶のみをしよう。
⇒若い世代とも積極的に交流し楽しみたい。甘え上手なおばあちゃんになろう。

東部地区 大旦部落

(部落長 / 佐原 輝一)



農村ならではの文化や資源が大切に守られてきた集落。支え合いながらみんなが共存できる地域づくりの起爆剤として、消滅してしまった「サナブリ」の再生が話題となりました。

■特技を活かし実益に！国民年金の上乗部分を作れないか。

- ・地元資源を使った生活必需品の制作、ユニークな作物の生産販売を考えてみよう。
⇒たとえば「竹の子白菜」「根わさび」「ズッキーニ」など。

■高齢者が生き生きと暮らせる集落づくり。

- ・集まりをつくり、楽しみを作ることから始めよう。
⇒余った食材を持ち寄って「おかゆパーティー」をやってみよう。公民館で映画鑑賞も面白い。

■老後の生活不安解消に備え、イザという時に頼りになるご近所の輪を大切に。

- ・在宅介護が必要な家庭の手助けを集落全体でできる仕組みがあればよい。
⇒地域づくりを若い世代に委ね、集落の役割を任せることも大切であるが
高齢者を主体とした部落行事があつてもよいのでは。
⇒農繁期には遅れている家の作業を手伝うなど昔からあった助け合いの輪を高齢者がリードして
次世代につないで行こう。伝統行事「サナブリ」の再現を！

いいでの町を良くするしくみ。

大口募金協力事業者ご芳名 (50 音順・敬称略)

《個人》 梅津 光雄 小笠原 英信 高橋 玄舟

《法人》

愛昭運輸
青木電気工事
アグリメントなか
アベ床屋
安部塗装店
嵐商店
イデパーツ
いいで福祉会
飯豊米ネットワーク
飯豊町観光協会
飯豊町産業開発公社
飯豊町商工会
飯豊めざみの里
いいでめざみの里福祉会
いいで旅館
いいでワゴー薬局
五十嵐商店
いとう印刷
伊藤園
いとう自動車
伊藤造園土木
伊藤美容室
井上園芸
井上電設
いわはなや食堂
上田スポーツ店
魚井
魚農味
ウマイヤ商店
エムエス置賜
L D F 山形工場
エルベ
遠藤商店
オウラ
大岸製作所山形工場
大城鉄工所

オーシャン
オオヒラ
置賜クリーン設備
男鹿商店
おそうじ館梅津
恩徳寺
菓子の丸屋
粕川電機商会
カネマン魚店
ガレージフラット
歓喜院
岩松寺
喜雲寺
菊地工業
菊地商店
吉祥寺
木村自動車
行人沢そば吾庵
協和ハウス
銀波
草刈商店
源守店
小池建築
小泉たたみ店
香月
国分石材
小関塗装店
後藤農場
ごとう美容室
後藤無線商会
こまくさ理容店
こまつ鍼灸接骨院
今魚店
斎藤組
さかい食堂

寒河江設計
佐久間履物店
佐藤管工業
男鹿商店
おそうじ館梅津
佐藤酒店
佐藤鉄筋
佐藤輪業商会
菓子の丸屋
粕川電機商会
カネマン魚店
ガレージフラット
歓喜院
岩松寺
喜雲寺
菊地工業
菊地商店
吉祥寺
木村自動車
行人沢そば吾庵
協和ハウス
銀波
草刈商店
源守店
小池建築
小泉たたみ店
香月
国分石材
小関塗装店
後藤農場
ごとう美容室
後藤無線商会
こまくさ理容店
こまつ鍼灸接骨院
今魚店
斎藤組
さかい食堂

どんでん平ゆり園
中自動車整備工場
中津川エフエフ
中津川バイオマス
長沼新聞店
長沼税理士事務所
並木製作所山形工場
新野印刷
肉のすがい
西置賜ふるさと森林組合
日栄製作所
日進
日通プロパン梅津商店
志田建築
島貴販売店
車匠ヨシダ
新丸七商店
スナック胡太郎
セーブオン飯豊萩生店
セルカ
泉学寺
千古屋
高岡建築工業
高橋工務店
竹村商店
たせい美容室
田中屋
田辺理容所
千草美容室
椿簡易郵便局
椿農産物加工所
椿美容室
手塚建築
でっち家
寺嶋医院
富永工務店
豊川建設

松山商店
マルコンデンソー
マルシチ米穀
丸八梅津商店
マルホ商店
まるや尾形商店
ミエ理容室
三ツ柳道路
緑のふるさと公社
ミヤコ美容室
美和美容室
めざみ交通
山形おきたま農協飯豊支店
山形中央信用組合飯豊支店
山形屋旅館
ヤマキチ
山口経営管理センター
山口治療院
山口ボディサービス
ヤマデン
夕月
湯の華
舟山板金
ゆう調剤薬局
横山土地家屋調査士事務所
米野土地家屋調査士事務所
来来軒
リペアナガオカ
理容ハセバ
理容ヤマグチ
リラ美容室
レベック
ヌールドファイブ
若乃井酒造
渡部魚店
渡部製材所

平成23年度歳末たすけあい運動の実績

みんなで支えあうあつたかい

地域づくりのために 938,500 円の募金が寄せられました



	配分された活動	事業執行団体
	経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業 (58件/654,000円)	社会福祉協議会
	安否確認を必要とする申請世帯等への特別配食サービス (124件/175,900円)	民生委員児童委員協議会
	要保護準要保護認定児童激励支援事業 (22件/66,000円)	民生委員児童委員協議会
	ボランティアによる福祉年賀状作成事業 (154件/16,000円)	高校生 ボランティアサークル 「さんたくろ～す」

歳末たすけあい運動はこの町で支援を必要とする人たちが安心して新年を迎えることができるよう皆様からの温かい善意をそれぞれの福祉活動に配分させて頂きました。※その他運動諸経費…26,600円

共同募金・歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました

昨年皆さまよりお寄せいただいた 共同募金 は 平成24年度に行われる福祉活動を支えます

今年、支えあうことの大切さを知った。



赤い羽根共同募金は、
高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、
地域の福祉活動を支援する募金です。
災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や
運営など、被災地支援にも役立っています。



10月1日～12月31日 赤い羽根共同募金

www.akaihane.or.jp

赤い羽根

東日本大震災では、赤い羽根のもとにたくさんの義援金が集まりました。ご協力ありがとうございます。



募金総額 2,398,427 円

目標額 2,223,000 円 (達成率 107.9%)



- 戸別募金 1,518,900円
- 学校募金 59,504円
- 街頭募金 13,283円
- 職域募金 22,016円
- 大口募金 770,324円
- イベント募金 14,400円

平成24年度配分計画

- A 広域施設団体経費配分 ⇒ 県内の小規模作業所、社会福祉施設・団体へ 523,000 円が配分
- B 地域福祉活動事業配分 ⇒ 町内の福祉活動のために 1,875,427 円が社会福祉協議会へ配分



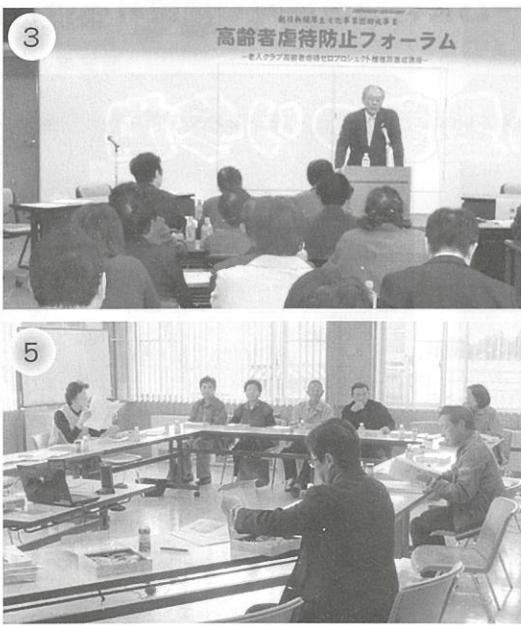
昨年秋口から展開してきた「募金運動」には、多くの皆様からご支援を頂き当初の目標額を上回る結果となりました。厳しいご時勢の中、特に昨年は災害義援金募集が先行したため募金疲れが心配されたところでありましたが、町民の皆様をはじめ、経営者の皆様、各種団体・学生の皆様から本当にたくさんの善意をお預かりすることができ心からお礼を申し上げます。
平成24年度には、この赤い羽根募金を財源としながら、本町においても「災害ボランティア機能の充実」などにも役立てて参りたいと考えております。

平成23年度これまでの出来事を振り返る



① 11月15日 第61回山形県・県民福祉大会 式典では、本町、町西ゆりの会代表の梅津敏子さんに吉村知事より表彰状が手渡されました。

⑦ 10月18日 「おしどり金婚さん顕彰記念品贈呈式」
対象となつた21組に対し山形新聞長井支社長より記念のレリーフが手渡されたほか、舟山社協会長より記念の夫婦湯のみが贈られた。



- ② 8月27日 飯豊町復興支援ボランティア 28名が宮城県石巻市を訪ね被災した民家の片付け作業を行った。
- ③ 11月22日 高齢者虐待防止フォーラム 高齢者虐待ゼロのまちを目指し老人クラブが主体となり開催された。
- ④ 9月3日 めざみの里まつり2011地域伝承交流イベント 老人クラブによる昔の遊び体験塾が話題を呼びました。
- ⑤ 10月24日 広げようサロンの輪サミット 町内いきいきサロンのリーダーが結集し情報交換を行った。
- ⑥ 11月18日 置賜三市五町社会福祉協議会役員研修会 本町を会場に開催され活発な意見交換が行われた。



- ⑧ 9月 障がい者等用駐車スペース完成
社会福祉協議会入口に職員手作りによる2台分の駐車スペースが完備されました。適正利用にご協力よろしくお願いします。



中ノ目消防団が被災地でボランティア活動

一日も早い復興を願って

飯豊町消防団第一分団二部一班 団員 遠藤弘志

平成 23 年 11 月 12 日(土)、宮城県石巻市にて団員 5 名による「中ノ目消防団の復興支援ボランティア」活動を行いました。

平成 23 年 3 月 11 日に未曾有の「東日本大震災」が発生し、多くの方が亡くなりました。犠牲者の中には我々と同じ消防団員も含まれ、避難する住民を助けるべく行動し、命を落とした方が多くいました。我々も同じ消防団員として、また東北に住む者として何か協力することが出来ないかと、日々考えておりました。その折、毎年実施している研修旅行の中で「復興支援ボランティア」をしないかと団員各位から持ち上がり、社会福祉協議会を通じて発生から 8 ヶ月経過しましたが、実現することが出来ました。

被災地に足を踏み入れると、そこはまだ手付かずの所が多く、田んぼの真ん中に船があつたり、道路が寸断されていたり、住宅が骨組みしか残っていないなどと、凄まじい光景でした。周囲の住宅窓を見ると、津波の水が人の高さほど来た形跡が残っていました。

今回の作業内容としては、午前中、アパート裏のブロック塀(約 15m)の撤去作業を行いました。作業を依頼した住民の方々から感謝の言葉を頂き、ボランティア活動を行つて良かったと感じました。午後からは養殖業者の手伝いで、北海道から運んできたホタテの貝殻(トラック 2 台で約 22 t)をトラックから下ろす作業を行いました。貝殻の量があまりにも多く、非常に大変な肉体労働でしたが、これも被災された方々の少しでも復興に繋がればという気持ちで活動しました。

復興作業は午前 9 時から午後 3 時半までのわずかな支援でしたが、充実したボランティア活動であり、被災された方々の元気を取り戻すことの一助に関わったことを、大変うれしく思い、一日でも早い復興を応援しております。



《災害たすけあい義援金 (共同募金会飯豊町分会受付分)》

- ・特定非営利活動法人ほっと様
 - ・北上野部落様
 - その他 37,132 円 (23.8 月～24.1 月分)
- ※本会でお預かりした義援金は適宜、山形県共同募金会に送金し、中央共同募金会を通じて被災者の支援に役立てられます。

教えて!!「福祉サービス利用援助事業」

高齢者の方、障がいのある方など

福祉サービスを利用したいけどわからない。
銀行に行って生活費を引き出しするのが困難。
各種料金の支払いや通帳・印鑑の保管場所を忘れてしまう。



そういう方は、
社会福祉協議会が
相談にのります。
お気軽に電話下さい！

☎ 72-3353

契約により次のようなお手伝いが可能です。

福祉サービス利用のお手伝い

福祉サービスの利用料を支払う手続きや、
日常的に必要な事務手続き、福祉サービス
に関する情報提供などのサポート

日常的な金銭の出し入れのお手伝い

本人に代わって生活費の出し入れ、料金等の
支払い、請求書・領収書の管理等のサポート

大切な書類等のお預かり

本人の希望により大切な書類や預金通帳、
証書などのお預かりも可能

ほほえみカーの利用予約が携帯電話・パソコンから可能に！

ほほえみカーを利用する場合には、必ず電話予約が必要になっておりますが、耳が遠く聞き取れない方、うまく会話ができない方、日中忙しい方にとって電話予約が障害になっていました。

そういう方々がパソコン・携帯電話から手軽に予約申し込みできるようになりました。

聴力が弱くて、声が聞き取れない
...
電話予約が
難しい方



《まずは WEB 予約の設定を…》
メールアドレスの
追加登録が必要です
携帯予約→
QR コード



《予約は 24 時間 365 日受付》利用希望便の発車 1 時間前までに予約願います⇒予約の成立はあくまで営業日のみとなります
この機能追加で翌日の便を夜間の内にオペレーターさんと会話できなくても予約申込みができるようになります！

3・11 東日本大震災から十九月
つながる支援 私達ができること

平成23年度広報支援協賛企業紹介 ~私たち企業は、飯豊町の福祉事業を応援します~

上下水道工事・給排水衛生設備工事・空調設備工事
消雪工事・住宅設備機器販売・保守管理

株式会社佐藤管工業

〒999-0602 飯豊町萩生 615
TEL (0238) 72-2191
FAX (0238) 72-2192



社是：
お客様の
ために！

株式会社 サン十寧

■中田事業所メディカル事業部
米沢市中田町751-1 TEL 0238-37-6011
米沢総合卸売団地内 FAX 0238-37-6222

ちょっと いっぷく
お土産に
菓子の丸屋 のお菓子をどうぞ
萩生 TEL 72-2047 FAX 72-2048

未来へのおくりもの…

つや姫 TSUYAHIME

お米はここまで美味しいくなれる。
山形から、日本の新品种
ご飯の大好きなあなたへお届けします。



寝具設備関係業務・ベッド・カーテンの販売など
WATAKYU SEIMOYA
ワタキューセイモア株式会社
健康と快適の明日を考える
東北支店 TEL 022-392-2141(代)

パソコン、OA機器販売・サポート
i-systems アイシステム・ビズ
山形県長井市舟場14-7
アイシステムビズ 検索

社会福祉協議会活動や福祉の里めざみの運営を応援して下さる広告協賛企業を募集しております。詳細は事務局までお問い合わせください。

飯豊町第三セクター連絡協議会	石金焼きピッツア＆パスタのお店 味わう ○農家レストラン『エルベ』☎ 86-2828
温泉宿	緑のなかで健康づくりを 添川温泉 しらさぎ荘 ☎ 74-2161
お土産	おいしいもの交差点! めざみの里観光物産館 ☎ 86-3939
温泉宿	郷土料理の宿 白川温泉 白川荘 ☎ 77-2124
観る	甘美な香りの散歩道 どんでん平ゆり園 ☎ 78-5587

誰もがすこやかに暮らせる社会の実現のために—

NDソフトは
飯豊町の福祉を
応援します

NDソフトウェア株式会社 JASDAQ

〒992-0479
山形県南陽市和田3369
TEL 0238-47-3477(代)
FAX 0238-47-3482
詳しくはホームページへアクセス!
<http://www.ndsoft.jp/>

NDソフト 検索

安全・親切・快適 暮らしに奉仕する…

めざみ交通 株式会社
飯豊町椿 1984-8
TEL (0238) 72-2137

伊藤園
おーいお茶
国産茶葉100%

受験シーズン本番!
「ふるさと奨学ローン」
教育資金はおまかせ下さい!!

R 東北労働金庫長井支店 詳しくは窓口へ
TEL 0238-84-1100 お問い合わせ下さい

文具とOA機器の総合商社
SOC ソック株式会社
本店 長井市栄町10-1 電話 0238-84-2507
山形支店 電話 023-643-6331
U R L <http://www.sutouya.co.jp>

想い出のひろば

あんなことや こんなことや いろいろ
あったけなあ

福・祉・の・里・め・ざ・み



今年もひめさゆり荘グループホーム2号館と合同で夏祭りを行いました。

めざみの里まつり参加



職員と職員の家族で、めざみの里まつり輪踊りに参加しました。



敬老祭職員の出し物「花笠音頭」



ワッショイ ワッショイ御神輿だ

感謝録**みなさまのご厚志に心よりお礼申し上げます**

〈今号では昨年 8 月から今年 1 月 10 日までに届けられた善意を掲載させて頂いてあります。
皆様からお寄せいただいた貴重なご寄付は地域福祉の向上のために有効に使わせていただきます〉

●社会福祉事業のために寄附を頂いた方々 (順不同)

- ・高齢者手づくり作品即売コーナーに出店頂いた皆様
- ・飯豊町民生委員児童委員協議会女性部OBの皆様
- ・西部地区公民館文化祭実行委員会 様
- ・第38回飯豊町芸能発表会実行委員会 様

●施設ボランティア慰問、物品寄贈等 (順不同)**□物品寄贈**

- ・高橋 興影様(添川) 伊藤 勝美様(高峰) 嶋貫次左工門様(萩生) 木村 よし様(萩生)
- ・下椿いきいきクラブの皆様

□ボランティア

- ・井上 こう様(高峰) ひまわり会様(白鷹町) えみの会様(長井市) さゆり保育園の皆様
- ・つばき保育園の皆様 第二小学校 3 年生の皆様 小国高校飯豊支部の皆様
- ・長井工業高飯豊支部の皆様 高校生ボランティサークルさんたくろ～すの皆様

社会福祉の分野で功績のあった皆様

平成 23 年度において、栄えある表彰状並びに感謝状をお受けになられた皆様をご紹介いたします。

●全国社会福祉協議会会长表彰**【民間社会福祉団体功労】**

鈴木由美子 (社協職員)

●山形県知事社会福祉功労者表彰**【民生委員児童委員】**

遠藤嘉昭 様(添川) 片桐天山 様(萩生)
五十嵐あい 様(中津川) 岡 桂 様(中津川)

【社会福祉事業従事者】

嘉藤美和子 (社協職員)

【ボランティア団体】

町西ゆりの会 (萩生)

●山形県知事老人福祉功労者感謝状**【老人クラブ育成功労】**

高橋 悟 様(中津川) 伊藤千代 様(萩生)

【老人福祉施設等介護職員】

高橋節子 (社協職員)

●山形県・県民福祉大会会長表彰**【民生委員児童委員功労】**

小関恵子 様(手ノ子) 伊藤一則 様(萩生)

【一般社会福祉事業功労】

佐原真由美 (社協職員)

【社会福祉事業協助・奉仕者(団体)】

高校生ボランティサークル「さんたくろ～す」様

●山形県老人クラブ連合会会長表彰**【育成指導功労】**

伊藤幸雄 様(中) 菊地敏雄 様(松原)

●山形県身体障害者福祉協会会长表彰**【自立更生者功労】**

八島 圭 様(萩生)

●飯豊町社会福祉協議会会长感謝状**【社会福祉事業奉仕者】**

長沼安義 様(椿)

役員の異動

長沼様におかれまして平成十四年四月から約十年にわたり、地域福祉の推進のために指導頂きました。

◆ 退 任	◆ 退 任	◆ 就 任
監 事	副 会 長	監 事
長 様	後 藤 博	須 貝 周
(一十三年十一月三十日付)	(一十三年八月三十日付)	(二十二年十二月二十日付)
長 沼 安 義	信	一

24

年度 飯豊町敬老号参加者募集

「二十四の瞳」の舞台～オリーブの島・小豆島の旅



6月5日(火)～7日(木)

2泊3日・往復飛行機利用

●旅行費用 79,800 円

●募集人員 45名(先着順)

●申込受付 2/20～3/30

明石海峡大橋 / 島根大橋 / 阿波の十郎兵衛屋敷・踊り会館 / 小豆島・平和の群衆 / 大阪城残石講演 / 寒霞渓 / 二十四の瞳映画村 / オリーブ園 / 倉敷美観地区 等

★敬老号は仲間づくりを目的とした高齢者に優しい旅行です。概ね60歳以上の方ですとどなたでも参加できます。
<但し、定員超過時は、老人クラブ会員が優先されます>

《問い合わせ先》

地元の老人クラブ又は
飯豊町社会福祉協議会
☎72-3353

表紙写真／昨年 11 月に行われた飯豊町敬老号では、沖縄便の飛行機から素晴らしい絶景が見られました。「希望」と「光」が感じられるこの写真のように平成 24 年が皆様にとって新たな気持で大きく羽ばたける 1 年になることを強く希望いたします。